

東京外為為替市場委員会 第 236 回会合 議事録

開催日時 2020 年 11 月 16 日 電話開催
議長 中村 直人
副議長 大澤 孝元
副議長 川口 隆
書記 原 俊太郎
出席者 26 名

I. 委員の新任

中村議長より、十時氏から委員に立候補する意思が示された旨報告があり、全会一致で了承されました。

II. 副議長・委員の再任

中村議長より、大澤氏の副議長としての任期が満了することが報告されました。大澤氏から、副議長に再び立候補する意思が示され、全会一致で了承されました。同様に、中村議長より、高山氏および宗川氏の委員としての任期が満了することが報告されました。各氏から、委員に再び立候補する意思が示され、全会一致で了承されました。

III. コロナウイルスの影響拡大と対応

各委員より、国内での感染拡大に伴う各社の対応について、事前に集約されたアンケートに基づき情報共有がなされました。

IV. フォレックスセミナー運営等における電子化

高山委員より、主にフォレックスセミナーにおける連絡手段や広報活動を電子化するにあたっての最終確認として、当面必要となる予算案等が共有されました。当該予算案等のもとに議論を行った結果、東京外為市場委として当電子化プロジェクトを推進してゆくことが正式に決定されました。

V. オペレーション小委員会創設に向けた進捗

星野委員より、ファックス業務等の現行のオペレーションを見直す臨時小委員会について、各事務局員が課題への対応方針を遅滞なく検討しているとの報告がありました。

VI. GFXC カンファレンス

原書記より、12月のカンファレンスにおける各WGの活動報告に向けた事前ペーパーがGFXCより来着している旨報告がありました。このうち、いくつかの論点については東京外為市場委としてコメントする必要があるため、中村議長より委員に対して、今後、意見を募るとの案内がありました。

また、一部の論点では高度の専門性が要求されるため、東京外為市場委メンバーの理解深耕を目的として勉強会を執り行う予定である旨、大澤副議長より案内がありました。

VII. 12月臨時会合の開催

中村議長より、12/14日（月）に、東京外為市場委員会を臨時開催することを決定した旨、報告がありました。当該会合では、主に12月のGFXC会合のフィードバックがある他、GFXCとの連携強化の観点から、グローバルに議論されている論点についての意見交換等が行われる予定である旨が報告されました。

VIII. BCP小委員会開催

小柳準委員より、本年中を目途にBCP小委員会を開催する予定である旨、報告がありました。当該委員会では、BCP小委員会が作成するマニュアル・規程について、有事の情報共有における実効性を向上させる観点等から見直す方向で検討を進めてゆく旨、併せて報告がありました。

以 上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿 (11月16日現在)

<委員>

議長・BCP小委員長	○中村 直人	(三菱UFJ銀行)
副議長・E コマース小委員長	○大澤 孝元	(バークレイズ銀行)
副議長・CoC小委員長	○川口 隆	(みずほ銀行)
書記	○原 俊太郎	(日本銀行)
運営小委員長	○塚田 常雅	(三菱UFJ信託銀行)
広報小委員長	○大木 一寛	(EBS ティーリング リソース ジャパン)
法律・コンプライアンス小委員長	○五日市 知之	(三井住友信託銀行)
教育小委員長	○高山 典大	(野村証券)
市場調査・バイサイド小委員長	○石橋 優	(三井住友銀行)
	○星野 昭	(シティグループ証券)
	○廣田 泰司	(JP モルガン・チェース銀行)
	○十時 潤一郎	(上田東短フォレックス)
	○宗川 雄視	(リフィニティブ・ジャパン)
	○宮崎 誠	(CLS)
	○好川 弘一	(NAB 証券)
	○岩崎 拓也	(バンク・オブ・アメリカ・エヌ・エイ)
	○大熊 貴之	(野村アセットマネジメント)
	○桑野 貴	(ゴールドマン・サックス証券)
	○井上 裕嗣	(BNP パリバ銀行)

<準委員>

	○伊藤 祐介	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
	○小柳 徳明	(三菱UFJ銀行)
	○田中 潤平	(みずほ銀行)
	○中野 琴音	(バークレイズ銀行)
	○内山 祐樹	(三井住友銀行)
	○塩原 遵	(日本銀行)

<オブザーバー>

	○長谷川 実	(財務省)
--	--------	-------

(注) 敬称略 (順不同)。○は今回出席。